

NAVY





「トヘヘヘヘ……」

『何にやけてんのよ、真面目に』

『やんなさい』

『でも魂の補充ってキツド』

『可愛いんだもん』

『デスキャンオンが何発か』

『必要だからね、真面目にやんな』』



スロソ

「でも、どうして」

『そんなに強力になるの？』

『セーシは魂の片っ方だからな、』

『あたしら女の魂と波長が』

『合いやすいんだよ』

『赤ちゃんの素、貰ったときな』』

「あーい♪」



『ほら、匂いでどこにあるかわかるだろ』

「じゃあ、お姉ちゃん凄いな」



ちろ

『なんだよ、もう期待してんのか？
ガチガチじゃねえか』
『言っとくけどアタシの妹に変な事
したら只じゃおかないからな』
「そうだよ、こんな極悪棒
使っちゃダメだよ」

ぴちゃ...ちゅっ♡
『子犬みたいじゃないか♀』
「んうん」
ぬぬ! にゆる



『なんか出てきたか?』
「うん、零が出てきたよ」



『さ、
口の中で
味わってやりな、
良い魂が
取れるようにな』





「んうん」
『うう……なんかパティイが
上手くなるのは複雑……』



「じゅぽっ、ぽぶっ、
ずっじゆる」
『美味そうに
食べてるじゃん』
『音を聞いていると
アタシも欲しく
なっちゃうよ』



「んうん」
「んうん」



「やん、お姉ちゃん」
『アタシにも魂を分けてくれよ
左右対称だろ?』
「だーめー、今回はパーティでしょ」



『ちえっ、
じゃあ手伝ってやるよ』
『ほら、早くイケって!』



「ん！んんんん！んきやっ☆」
どぶん
ピク……おん……

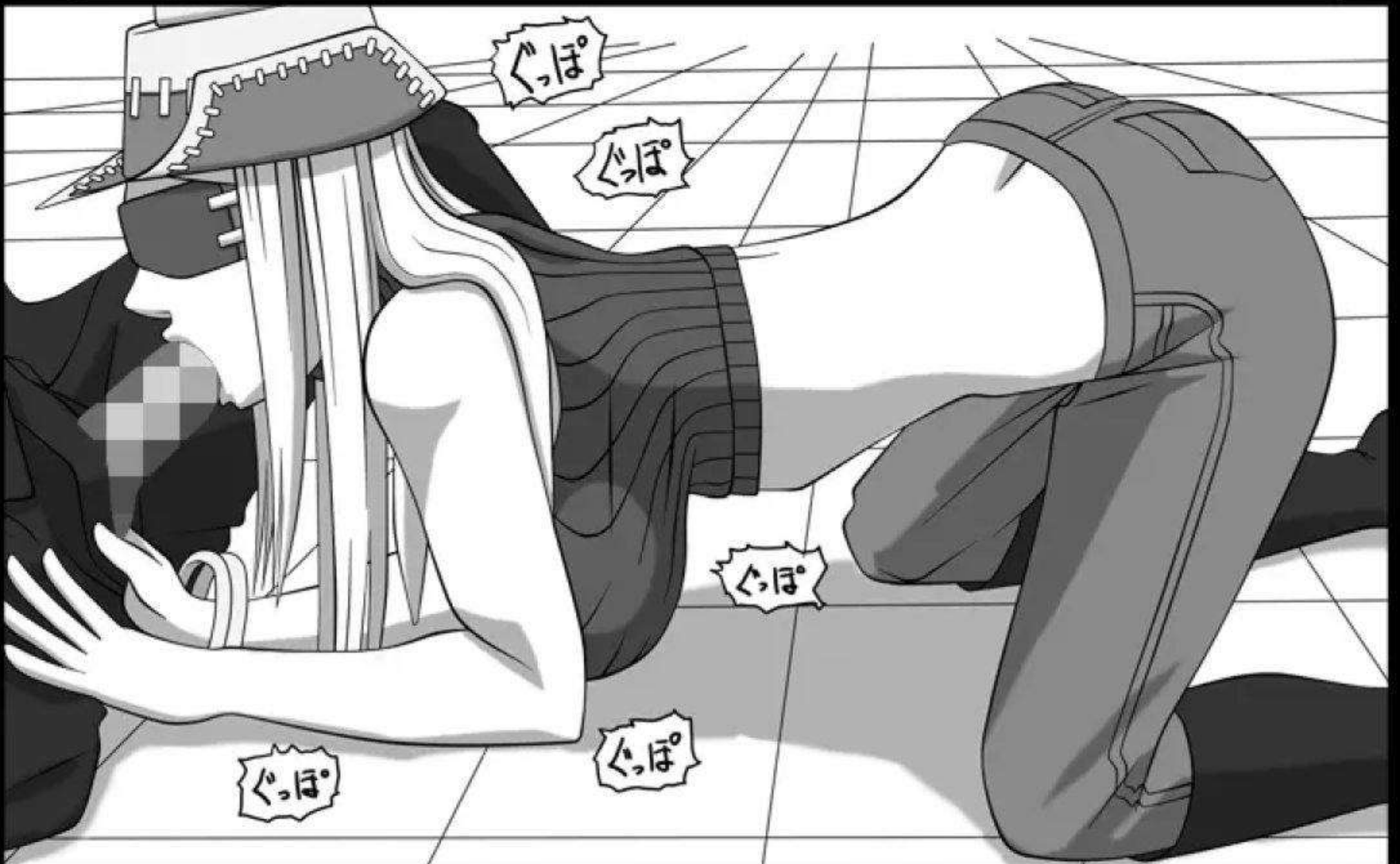


「んう、んく、んく」
「へっへー、
次はアタシの番だね」
『いはらきまふ』



『アタシも、うむっ。きちっと貰わなきゃ、うむ、』
『ぶぽっ、シンメトリーにならないしな∞、じゅぴっ』

『ずっぽ、ずっぽ、ずっぽ』
『ほらほらほら、アタシにもだしなって』
『あぽっ、ぶぽっ』





『ぶふっ、んん、んく、コクツ』
『ふふ、ひっふあい、ウフフ』

ゴ
ム
ム

『うひゃうっ!』

『あぶっ!んぶっ……ん』

プ
ッ
……
ゴ
ム
ム
!!



ゴ
ム

ゴ
ム







あーん♡

いただきます☆

いーい



あむ

じゅっ
じゅっ

くあっ

先っぽ舐め舐め
ウフフ……

猫舌どう？
ざらざらしてて
気持ち良いでしょ？



うあっやめろ!!

刺激が!!





やめ!!
出ちまう!!

クールに出し
ソウル



ウフフ♪
出るかな
でるかなあ?

頼む!!
やめてくれえ!!







制作：サークルNAVY
印刷所：あかつき印刷

<http://kisyuu.blog114.fc2.com/>
jmsdf_atago@hotmail.co.jp

あ、やめ!!

ヒョウ

もう勘弁...
ひゅく

助け...
ひゅく

あああ
ひゅく



NAVY





強くする実験です。



これは貴方の魂を

そう、私は何時間も
アイテムで燃られ続け、
身も心も空になりました。



そして奉仕を
求められます。
いいえ、
強要では
ありません。

これは私の魂を強くする特訓。
フラックスターの魂の波長を
受け止める訓練。



シユタイン博士に協力してもらいました。
フラックスター……。
椿はもっと強くなります。

ああ、フラックスター！。
椿は受け止めます。
だから我假でも良いのですよ



椿が後ろに控えて、
必要な時はいつでも
お手伝いします。
他の武器に移ろっては
いけませんよ。

あむっ！んぐっ！ん！

奥まで入ってきた♪



おぐっ！ごっ、おっ。うぷっ！

椿が必要ですか？フラックスター！
椿は貴方の命令のまま変わります。
貴方の命令に従います。



ふふふ……
フラツクスターったら、
お口の中で震えてる。
気持ち良いですか？ 椿の舌は。
舌の動きにはちよつとした
自信があるんですよ。
楽しんで下さいね。



あれ？
どうして抜くんですか？
ひよつとして歯が
当たってしまいましたか？
先っぽを咥えるのではなくて、
奥まで入れたかったですか？

さ、フラックスター。
椿のお口に入りましょう。
剥き出しの刃は危険です。
椿は貴方の鞘です。
貴方を受け入れる為に椿はいます。



おうっ!
ごっっ! うぐぐぐ





腰が動いちやいますか？
もつつと吸い上げたりはじめてました。
やだ、音がしはじめてますよ。
フラックスターも出てきますよ。

ちゅっ
むちゅっ

ひよっとして感じてます？
椿、嬉しいです。
あむ、ん、んむう。
好きなように動いてください。

はっ

ちゅっ

ちゅっ

はっ

イキますか？
出しちやいますか？
好きなように
動いてください。
もつと喉奥を
突いて！
ぐんぐつ、ぐんぐつ、
ぐんぐつ



きやん！
出ました。精液が喉を突いています。
こんな一杯……嬉しい。
呻き声をあげちやって、
椿が追い詰めちやいましたね。



コクツ、ンクツ。ん。
お待ち下さい、全部飲み干しますね。
んっ、んっ。ごくっ、ん。



お腹一杯です。
口の中がねばねばします。
溜め込んでいたんですね。
まだまだ出ますか？
椿は貴方が望むままに……でも……



もっとザーメンを注いでください。
椿の魂を強くしてください。
これは……私が望んでいた事だったんですね。

お口が恋人
NVAY

印刷所：あかつき印刷

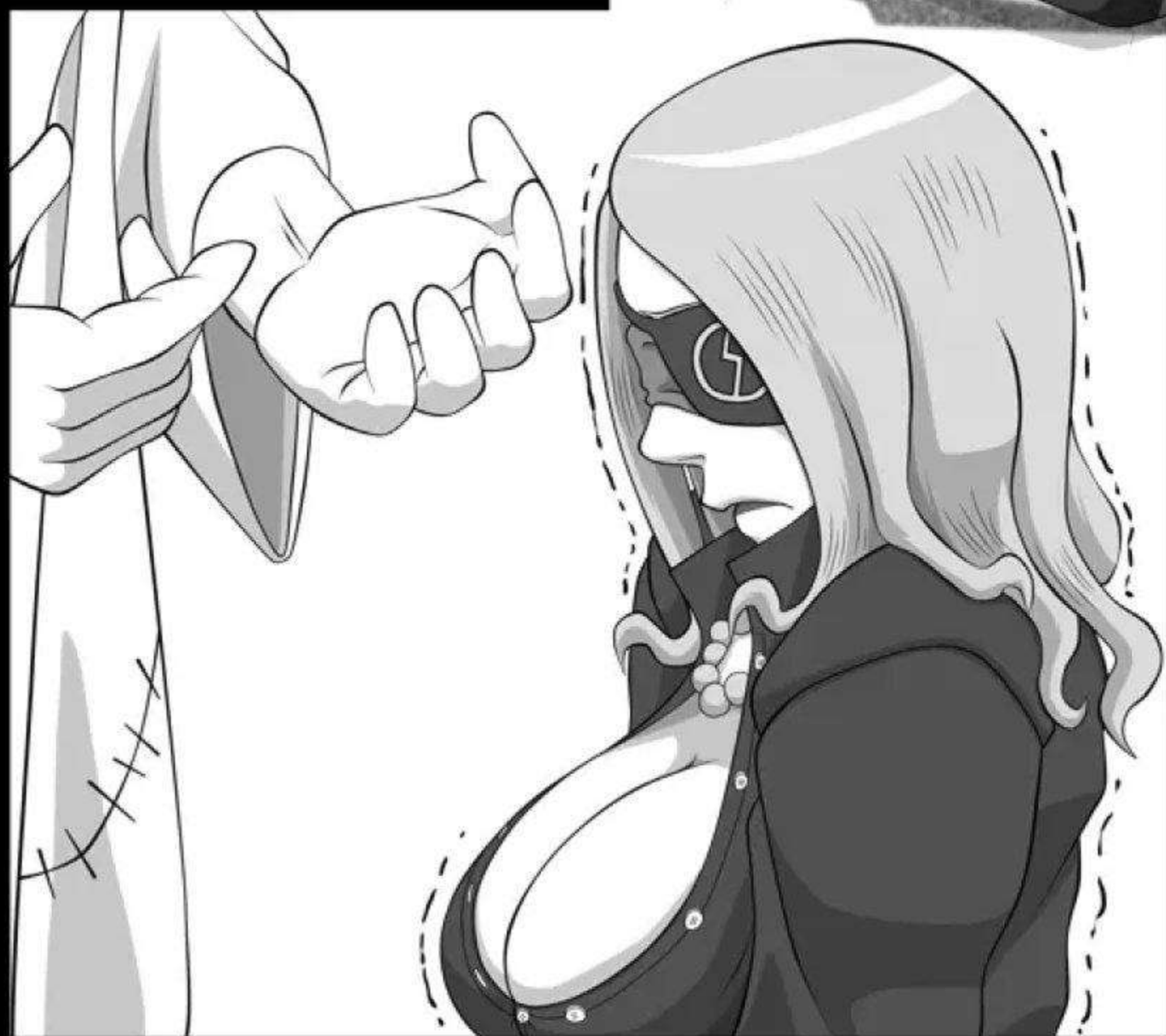
jmsdf_atago@hotmail.co.jp

NAVY





「駄目だマリー……」
「狂気が抑えられない」
「これ程までに進行が早いとは……」
『シユタイン……』
「頼むマリー。頼む……」
「協力してくれ……死武専の為にも……」



「マリーイイイイイ」
『……わかったわ……シユタイン』
『元の……貴方に戻るように……』

「ああああああああ、マリイイ」

「止まらない……止まらない」

「お前の解剖が始まる前に
俺の狂気を吸い出してくれエエ」



『シュタイン……ダメツ』
『ん……んん』
『狂気を抑えてシュタイン』
『心と体を一緒に抑えないと
意味がないっ』



『心を落ち着けて……』
『私が……私が今狂気を
抑えてあげるから……ね』



『さあ……シユタイン』
『こゝんな事しか
出来ないけれど……』
『入れて……使って……』
『口……』



「マアアリイイイイ」

『んぷ！』

『んんんんんんんんんん』

「マアアアアアリリリリイイイ」

『ぷはあっ！深……すぎ』

『シユタイン、んん！ダメ！
自分の心を見つめて！』



『ん！あぶっ！うぶ』

『ふおんなあ……おひほまはいれ』

『んん！っううんーん』

「ぶおっ！おおおっ！マアアリイイ」

『落ち着いてシユタイン』
『わらひがもろひへ、あえゆ』



「うおおおおおお」
「解剖！かああいぼお」



『じゅびっ！ダメよ、シユタイン！』
『ぢゅうう、じゅびっ、じゅるっ。あむ』
『ほのきはちは、わらひにらぶの』

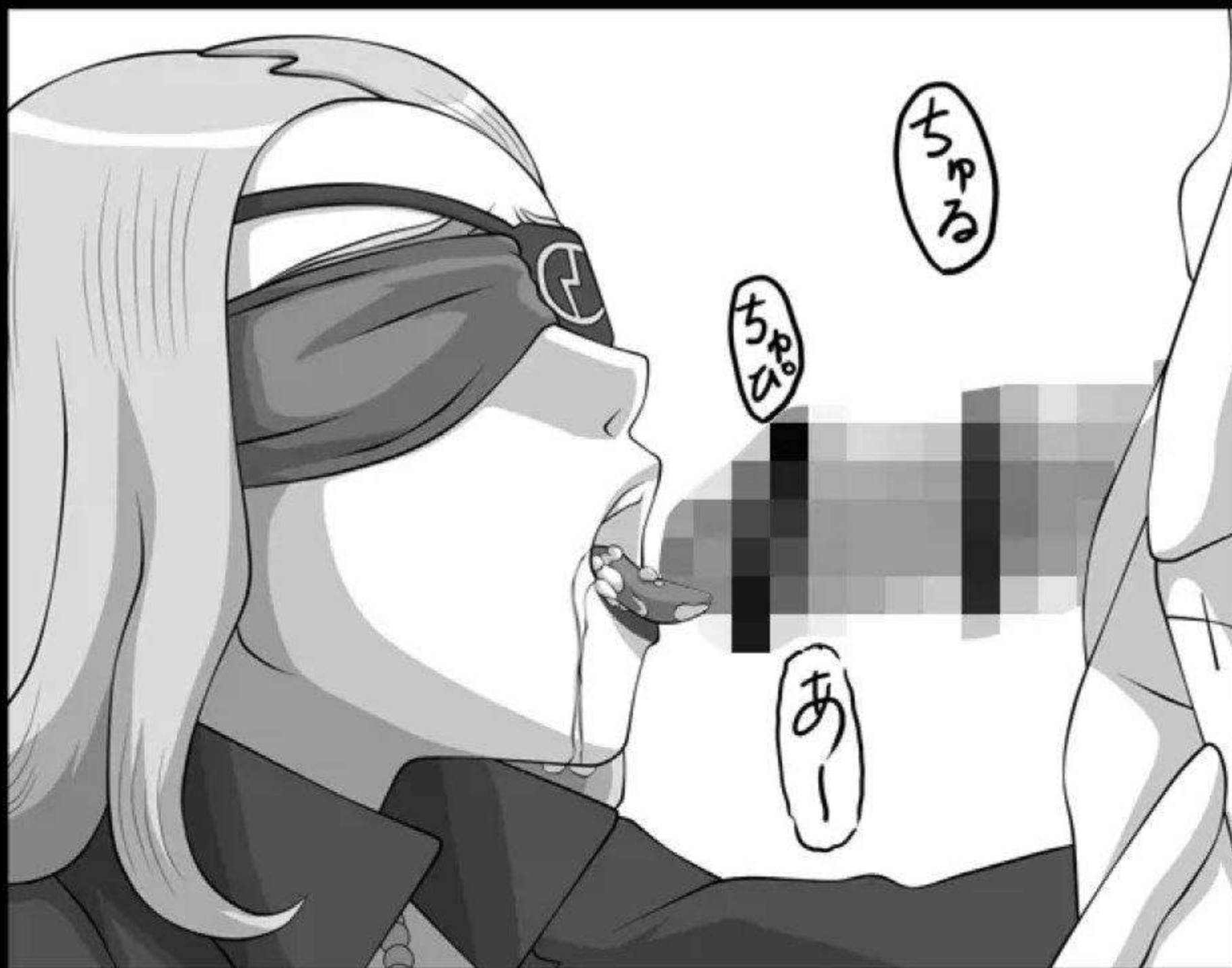


「マアアリイイ。うああああ」
『あふっ……ん！んんん！』
「ガアアアアア」
『ゴボツ……多っシユタツ』
「あああああ」
『ゴビユツ、ゴホツゲホツ』



『ゴクツ、ゴ、コク』
『ん……あぶ、じゆるっ』
『じゅじゅじゅじゅ、いっふあい』
『あむ……』
「はあはあはあはあマリイ」
『らしたわね、ちゅぴ……シユタイン』

「マリイ……もつと、もつと……」
『チュピツ、じゆる……』
『シユタイン……かけていらぬのよ』



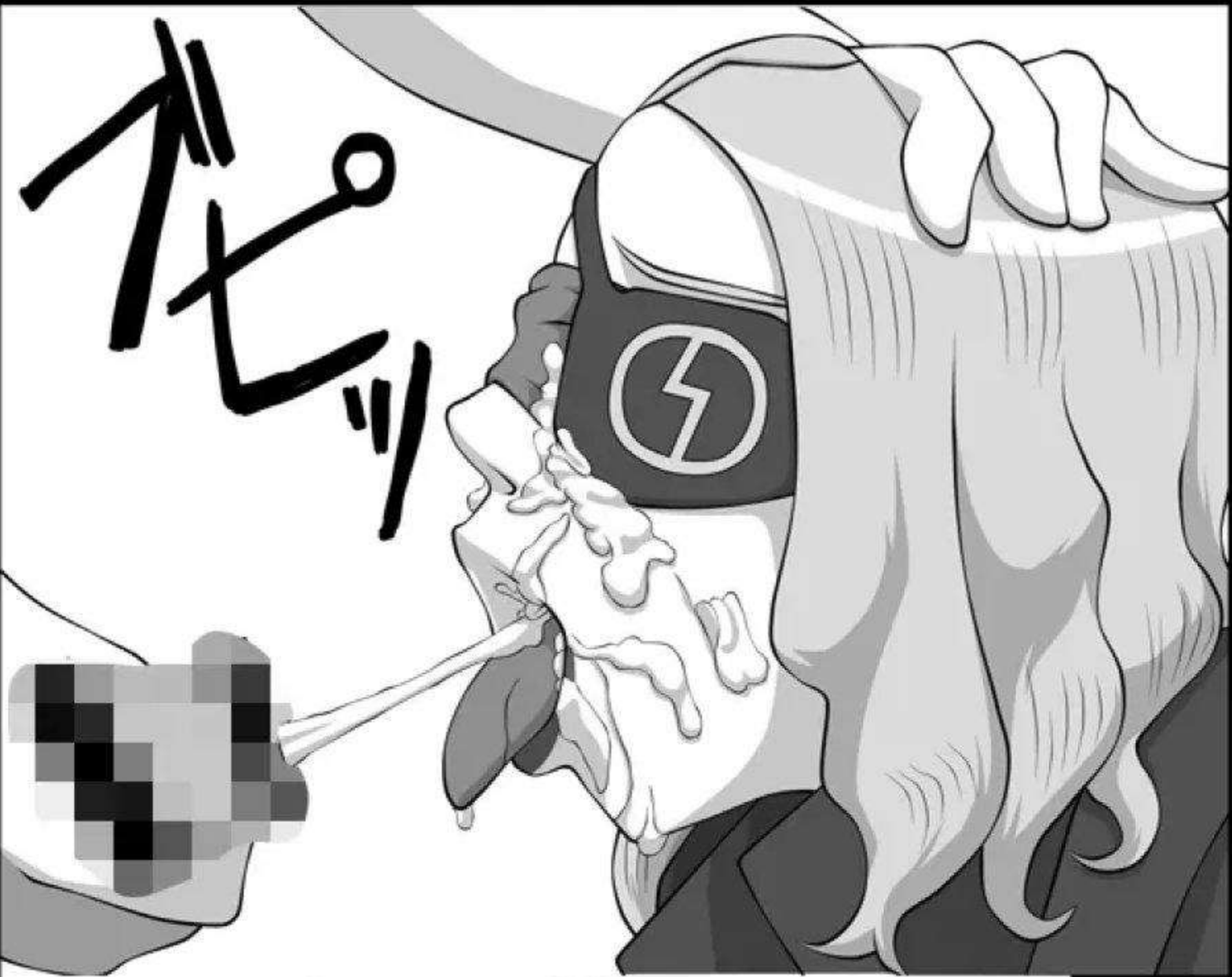
ズンズン!

セクシク



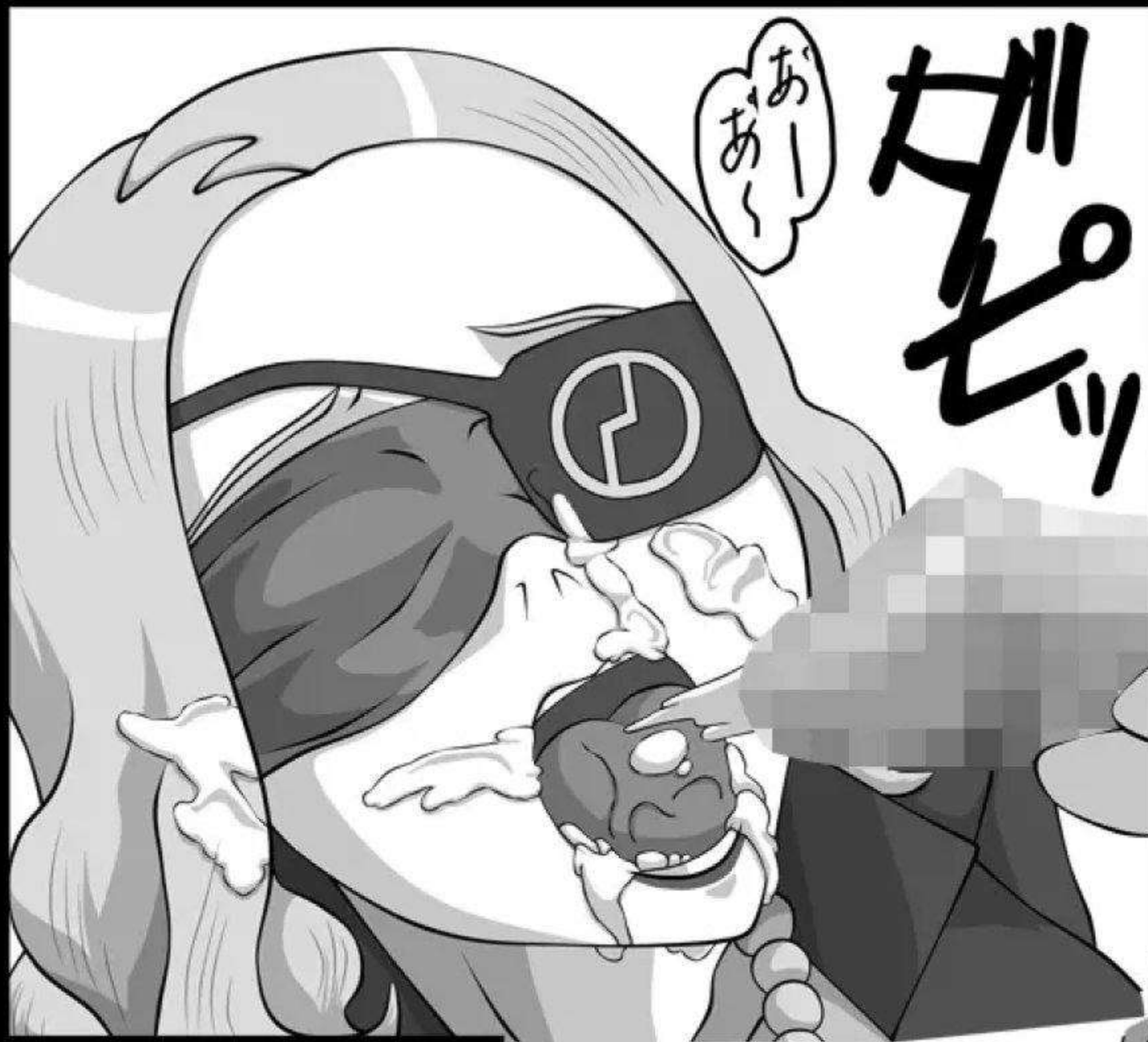
「マアリイイ、イク、イクウウ」
『あああ……あ……あ……あつたかあい』

私の口に
だして
えええ



『あむっじゅじゅ……じゅる』
『だひて……そろひょうひをらひて』
『れんぶ、れんぶ、わらひがのみほんれ
あえゆから』
『しゅらいんのひょうひ、らひきっ』





あー
あー

ダゼッ

「マア……りい、口開けろお」
『あー……』
「イクぞおおお」



ん

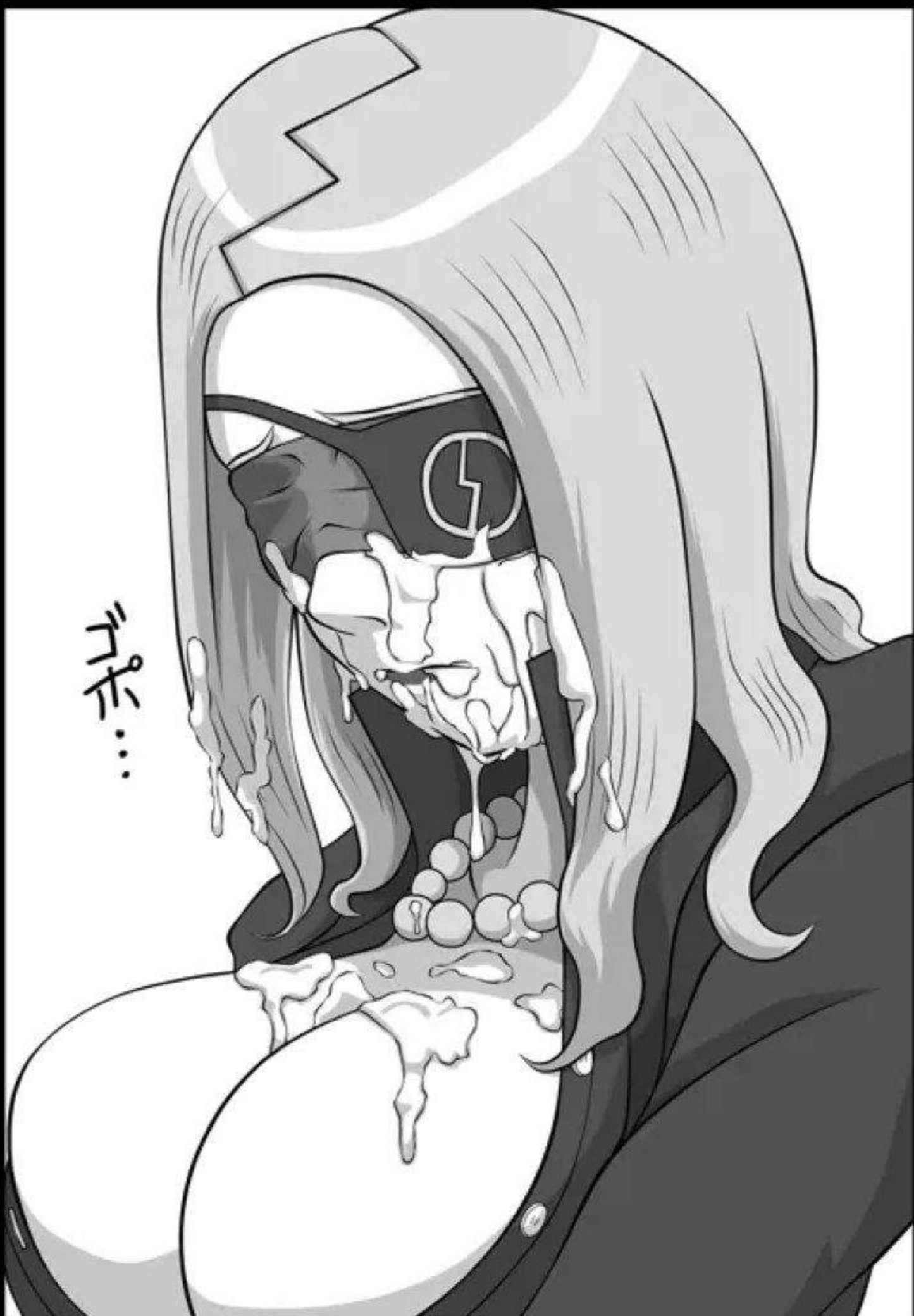
コクッ

ん

ん

『コクッ、コクッ』
『ん……んぐ』
『しゅらいん』
『じゅじゅぽっ』
『ぢゅ』

「もつと……もつとだマリイ」
「おれの狂気はまだあるぞおお」



『けほっ……もういっぱい……飲み込めない……』
『戻ってきて……シユタイン……』